

事務事業名	女性セミナー開催事業		☒ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連	
政策名	総合計画 04	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	教育委員会事務局
施策名	21	生涯学習の推進	所属係	生涯学習班
基本事業名	78	学習やスポーツへの参加機会の提供	担当名	谷本 洋美
予算科目	会計 01	款 10	項 05	目 03
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 ☐ 期間限定複数年度→全体計画の投入量を記入 ↳ (開始年度 年度 ~) ↳ (年度 ~ 年度)		法令根拠	
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)			全体計画(期間限定複数年度のみ) (単位:千円)	
(事業の内容) 女性の教養を高め、よりよい人生の過ごし方を学習してもらう事業 (業務の内容) 6月から翌年3月まで月1回(合計10回)月替わり学習会を総合センターを実施し、様々なテーマで女性向けの講話、実習を行っている。 (予算の内訳) 報酬(社会教育指導員業務相当分)、報償費(講師謝礼)			総投入量	国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計 (A)
			人件費	正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計 (B)
			トータルコスト(A)+(B)	0
			人件費	0
			トータルコスト(A)+(B)	0

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

18年度実績(18年度に行った主な活動)

6月開講式、市長講話、裁判員制度、ヨガ教室、味噌作り、漢字講習、韓国文化の講話など計10講座を開催。

19年度計画(19年度に計画している主な活動)

18年度に同じ(内容変更あり)

② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等

市民(女性)

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

女性のよりよい生き方を学習してもらう。

④ 結果(どんな結果に結び付けるのか)

市民が生涯にわたって目標、目的をもって学習する。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない

名称 単位
ア 受講者数 人

イ
ウ

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない

名称 単位
ア 女性人口 人

イ
ウ

⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない

名称 単位
ア よりよく生きられるようになった女性の割合 人

イ
ウ

⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない

名称 単位
ア 目標、目的をもって実際に学習している人の割合。 %

イ
ウ

(2) 総事業費・指標等の推移

	単位	16年度 (実績)	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (見込)	20年度 (目標)	21年度 (目標)	22年度 (最終目標)
投入量	国庫支出金	千円						
	都道府県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円		16	20	50	50	50
	事業費計 (A)	千円	0	16	20	50	50	50
	正規職員従事人数	人		3	4	4	4	4
	延べ業務時間	時間		70	112	112	112	112
	人件費計 (B)	千円	0	175	445	445	445	445
	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	191	465	495	495	495
活動指標	ア 人							
対象指標	ア 人	11,000	11,500	26,000	26,500	27,000	27,500	27,500
成果指標	ア 人							
上位成果指標	ア %							

事務事業名	女性セミナー開催事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	------------	-----	----------	-----	-------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
この事業を始めた経緯、年代とは定かではない。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
女性の社会進出が一般的になっているが、比較的高齢の世代等にはもっと教養を高め、より良い人生を送りたいという願望も強いと思われる。こういった年代層は今後も増えていくと考えられるので、対象者は増加していくと思われる。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
特に聞いていない。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】 女性の教養を高め、多くの女性が生涯学ぶ意欲を持ってもらうことで、生涯学習の振興に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】 近年は女性の社会進出も進んでいるが、より高い向学心を持って生涯学び続ける姿勢をたくさんの方が持っている。それに応えることは政策の目的とも合致するので妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】 対象意図は現状では適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 より魅力的な講座を用意し、広く呼びかけることで参加者が増え、成果の向上が得られる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】 女性の特色ある興味に応える講座が減り、生涯学ぼうとする意欲を減退させる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある ⇒【理由】(具体的な手段、事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に理事の事業がない。 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 最低限の講師謝金のみ計上しており、削減は困難である。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 すでに正職員の関与は最小限度であり、削減は困難である。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☒ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 公平・公正である ⇒【理由】 学習効果の高い講義や講師などは、ある程度の参加料負担を行ったうえで開催することで、受益者負担を求めてもよいのではないかとと思う。

合志市

事務事業名	女性セミナー開催事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	------------	-----	----------	-----	-------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果

- ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり
- ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ④ 公平性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり

(2) 全体総括(振り返り、反省点)

女性に向けた講座を開催することで、生涯学習にいそむ市民を増やすには、より魅力的なメニューと広く呼びかける広報に力を入れるべきである。

また、学習効果を高めるためには、参加者の応分の負担によって、高いレベルの講義も求めることが望ましい。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☒ 事業のやり方改善(有効性改善)
- ☐ 事業のやり方改善(効率性改善) ☒ 事業のやり方改善(公平性改善)
- ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

女性に向けた講座を開催することで、生涯学習にいそむ市民を増やすには、より魅力的なメニューと広く呼びかける広報に力を入れるべきである。

(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		○	
	維持			×
	低下		×	×

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

負担を求める場合の、費用対効果をよく検討する必要がある。

4 事務事業の2次評価結果

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)

- ☐ 記述不足でわかりにくい
- ☐ 一部記述不足のところがある
- ☐ 記述は十分なされている

② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)

- ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)
- ☐ 一部に客観性を欠いたところがある
- ☐ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)

(2) 2次評価者としての評価結果

- ① 目的妥当性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ② 有効性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ③ 効率性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ④ 公平性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり

(3) 評価結果の根拠と理由

(4) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善(有効性改善)
- ☐ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善)
- ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(5) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			×
	低下		×	×

(6) その他2次評価会議で指摘された事項